

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4071501169
法人名	医療法人親仁会
事業所名	グループホームひまわり
所在地	福岡県大牟田市西浜田町15-3
自己評価作成日	平成23年7月18日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://kohyo.fkk.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 アーバン・マトリックス 評価事業部		
所在地	福岡県北九州市小倉北区紺屋町4-6 北九州ビル8階		
訪問調査日	平成23年7月29日	評価結果確定日	平成23年9月21日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>・本人の想いを尊重し家族のように支え合い安心して住み続けられる様に支援します・認知症の啓発、地域住民との協働</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>毎月、入居者全員で参加する地域の予防教室(いきいきクラブ)や、永年利用していた商店街への買い物に定期的に出掛ける等、昔馴染みの方との交流の機会も多い。また、ホームとしても、毎週、地域の独居高齢者を中心とした予防教室を開催しており、食事や活動をともに行う等、高齢化率が30%を超える中友地区において、支え、支えられる関係性の中で、地域拠点としての活動が行われている。同法人の診療所が階下に位置していることや、認知症医療に力を注ぐ法人内専門医との連携は、本人、家族の大きな安心であり、管理者、職員は、それぞれの入居者の方にとっての日常に寄り添いながら、施設的ではない、普通の暮らしの実現と継続に向けて、日々さりげない支援を続けている。</p>
--

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに 印	項目	取り組みの成果 該当するものに 印
58 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:25,26,27)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	65 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,21)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
59 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:20,40)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	66 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,22)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
60 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:40)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
61 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:38,39)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:51)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	69 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:32,33)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	70 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
64 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:30)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	その人らしく暮らしを頂く為に、買い物、外出支援を行っています。地域の予防教室に月1回参加。又、週1回地域住民の方がお見えになり、予防教室を開催し、地域住民の方との触れ合いにより、普通の暮らしの支援の実践があります。	家族や地域とのつながりを大切にすること、支えあう関係性の中で、その人らしい暮らしを継続できるよう支援していこうとする理念のもとに、職員個々の個人目標も掲示されており、様々な確認事項からも、理念の具現化に向けて取り組む職員の方々の思いや奮闘が伝わってくる。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の予防教室に月1回参加させて頂いています。又、週1回地域住民の方がお見えになり、予防教室を行っています。定期的な交流を行う事で活き活きと生活される様に支援をしています。	毎月、入居者全員が地域の予防教室(いきいきクラブ)に参加している。また、ホームとしても、地域の独居高齢者を中心とする予防教室を毎週開催しており、食事や活動をともに行う等、大牟田市の中でも高齢化率の高い地区の事業所として、積極的な活動が行われている。毎月、中友小ボランティアクラブ児童たちの訪問があり、お芝居を披露してくれたり、交流を楽しむ機会がある。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域との交流活動内容を施設のおたよりに載せ御家族や運営推進委員・地域隣組の方に見て頂いています。		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	施設たよりに入居者さんの生活状況や地域交流の記事を載せ説明、評価や改善内容を資料を元に報告、サービスの向上に活かしています。地域の災害・徘徊者捜索については連絡網の整備を行いサービス向上に繋がっています。	昨年は、新型インフルエンザの影響もあったが、家族代表、公民館館長、地域ボランティア、市職員、包括支援センター職員等の参加により、通常は2ヶ月に1回、開催されている。活動報告や地域情報の共有、地域資源との協働を働きかける機会としても活用し、運営に活かしている。	
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	管理者が官民協働の認知症介護コーディネーター養成研修受講中であり、長寿社会課との協働の役割があり、あんしん介護委員の受け入れを行い、運営推進会議等に参加、サービスの向上に積極的に努めています。	全国に先駆けて始まった認知症コーディネーター制度や、徘徊模擬訓練等を通じた行政との協働はもとより、研修や行事を通じた連携、交流が図られており、行政担当者との顔の見える関係性の中にある。あんしん介護相談員を受け入れている。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	管理者や職員は、高齢者虐待防止法について資料の読み合わせを行ったり、学習会に参加し認識の一致を図っています。玄関は施錠せず、見守りを行っています。	外部研修への参加や内部での伝達を通じて、職員間の共通認識を図り、意識を高めている。リスク回避についての検討を重ね、家族の理解も育みながらリスクを共有する等、安全面での配慮と自己決定を妨げない支援のバランスを意識したケアに努めている。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法の資料の読み合わせを行ったり、学習会に参加し認識の一致を図っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8	(6)	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者と職員は、日常自立支援事業や成年後見制度について、認知症コーディネーター養成研修等で研修を定期的受けています。現在、必要な方はおられません。	制度に関する資料を整備し、入居契約時や必要時、家族懇親会等にて情報発信を行っている。現在、制度の活用事例はないが、外部研修への参加や会議の中での伝達を通じて、理解を深めている。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約をする際は、契約書(重要事項説明書)を元に説明と理解を頂いています。介護保険更新時に入居契約更新確認書を書いて頂き、契約の再確認(更新)を行い、不安や疑問点等ないか、確認しています。		
10	(7)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	職員が3か月交代にて受け持ち制で、御利用者様や御家族様とのコミュニケーションを図るよう努めています。訪問時・家族会を利用して意見を頂いたり、運営推進会議には、御家族様も出席され、意見が言える機会としています。	運営推進会議や年1回の家族懇親会、また、日常の来訪時等を通じて、家族意見の表出に向けた働きかけを行っている。全体での馴染みの関係の中で、3ヶ月毎に担当者を変更し、新たな視点や適性等への配慮としている。	
11	(8)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	個人育成面接実施、毎月の職場会議にて、意見交換を自由に言える雰囲気があり、職員の提案は話し合いを行い、運営に反映しています。毎日昼のミーティング(5分～10分程度)時、意見を聴く様にしています。	年3回程、個人面談の機会があり、個人目標への評価や意見や要望の表出を求めている。定例会議や日々のミーティングにおいても、業務改善や行事の提案等、活発な意見交換が行われている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	それぞれの力量に応じスキルアップの研修を行っています。それぞれの得意とする所を伸ばしていけるように支援に努めています。		
13	(9)	人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員の採用や募集に際しては、特に差別はしていません。法人内の自己啓発の自己計画表があり、定期的に面談を行い思いに添えるように努めています。資格試験や研修会の希望にも柔軟に勤務調整を行い応援しています。	職員の採用時には、年齢や性別による排除は行っていない。今年度より、外部研修参加へのサポートにも取り組み、資格取得への支援も含め、スキルアップや自己実現につながるよう配慮に努めている。年3回の個人面談を通じて、自己啓発に向けた目標設定や評価を行っている。	
14	(10)	人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	管理者が、認知症コーディネーター養成研修を受講しており、その伝達学習を行い、意識を高めるように努めています。	法人内の事例をもとにした研修や包括支援センターから講師を招き、人権教育、啓発に取り組んでいる。平和学習への取り組み等、様々な視点から人権尊重への意識を高めている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
15		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人の介護部は、行政の勤める『認知症の方が安心して住み続けられる街づくりに協働しており管理者、職員は積極的に参加しています。認知症ケア実践塾(年間6回)・法人内の認知症ケア学習会にも参加を行っています。		
16		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内の介護研修の受け入れや他施設への研修を行ったり、研修発表会に参加し意見交換等行い学びを深めています。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
17		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	日常的にコミュニケーションに努め、情報提供を行い困っておられる事や相談しやすいように、努めています。		
18		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	定期的にコミュニケーションに努め情報提供を行い、不安、要望等の聞き取りに努めています。		
19		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族や介護支援専門員、包括支援センター、生活保護課との連携に努め、必要時対応出来るようにしています。		
20		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	玉ねぎの皮剥き、もやしのめ切り等をして頂いたり、歌を教えてもらったりして支えて頂いています。		
21		本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員は家族もケアサービスの一員と考え、連携を取ながら、喜怒哀楽を共にしています。		
22	(11)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域の予防教室への参加やホームでの予防教室に参加される、馴染みの方との交流を大切にしたり、定期的に、馴染みの店への買い物支援を行っています。	永年、馴染みとしていた商店街への買い物に定期的に出掛け、会話のやり取りを楽しんだり、自宅の様子を心配する方とともに自宅周辺へのドライブに出かけている。また、配偶者の利用する施設との相互訪問や、地域の予防教室では旧知の方との交流を楽しむ等、関係性の継続に向けた積極的な支援が行われている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
23		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず に利用者同士が関わり合い、支え合えるような 支援に努めている	利用者同士の関係を把握し、入浴を共にし たり、食卓の位置に配慮し、仲たがいになる ような場合には、間に入り支援を行っていま す。		
24		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関 係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族 の経過をフォローし、相談や支援に努めている	1年間の関わりの中では、退去された方は おられません。施設入所や病院への入院 になった場合に於いても、面会、訪問をし たり、本人、御家族との関係は保っています。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
25	(12)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握 に努めている。困難な場合は、本人本位に検討し ている	「その方を知る」事で、本人の思いに添える ケアに努めています。安全に配慮しながら、 本人本位に努めています。	安定している職員体制の中で、馴染みの関係性が 築かれ、日常の中での会話や、入浴中や食事中の 何気ない言葉、仕草等を職員間で共有し、思いや 意向、ニーズの把握につなげている。また、入居時 にはセンター方式を活用した情報収集が行われて いる。	
26		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環 境、これまでのサービス利用の経過等の把握に 努めている	お一人、お一人のこれまでの生活歴、馴染 みの暮らし方を知る事で、本人の意向に添 えるように努めています。		
27		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する 力等の現状の把握に努めている	医療連携との情報交換、お一人、お一人の 心身の状態を把握し、入浴や外出等、体調 に合わせ、無理のない暮らしを支援していま す。		
28	(13)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方 について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、 それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即 した介護計画を作成している	本人、家族、関係者との話し合いや、思いに 添いながら、計画を作成しています。	3ヶ月毎のモニタリング、評価を実施し、見直しを 検討している。日常生活記録は毎月家族へ開示 されており、本人、家族の意向を踏まえ、関係者 間での協議が行われている。	モニタリングや見直しの際に、各担当職員 を中心として全員が積極的に関わり、気づ きや意見を更に引き出しながら、計画に反 映していくこと、また、より具体的な目標設 定を行うことで、達成状況が確認しやすく、 本人、家族、職員のやりがいや新たな視 点の確保にもつながると考えます。
29		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を 個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら 実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録は簡素化していますが、状態変 化家族とのかかわり、アクシデント等は、介 護記録(経過記録)に記録し、職員間で、情 報の共有を行い介護計画の見直し、実践に 活かしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	事業所の多機能はありませんが、既存のサービスに捉われない様に、柔軟に支援出来るように努めたいと思います。		
31		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	イベントがあれば併設のデイケアとの合同企画にて、演芸、クリスマス会等を行い、小学生ボランティア、安心介護員等、馴染みの地域の方との触れ合いがあります。		
32	(14)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	希望のかかりつけ医があれば支援を行っています。婦人科、眼科等受診援助を行っています。	併設される診療所やデイケアの利用を通じて、入居に至ることも多く、1階の併設診療所より週1回の往診がある。また、歯科医による定期往診及び歯科衛生士による週1回の口腔ケア実施、他科についても、往診、受診への支援体制が確立している。法人内の専門医との充実した連携も活かしながら、認知症状へのアプローチが行われている。	
33		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携の看護師と、日頃より、情報交換を行い状態の変化に気がけ、医療管理、活用の支援を行っています。		
34		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	御利用者様が入院された場合、付き添いを行い、病院関係者との情報交換を行い、治療がスムーズに出来るように支援しています。定期的に面会を行い、状態の把握、早期退院に向け、かかりつけ医との治療継続を行う様にしています。		
35	(15)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	管理者交代後、ホームでの看とりの経験はありませんが、御家族様とのコミュニケーションに努め、日々の生活の様子、身体の情報提供に努め、方針を共有しています。	入居時に、重度化や終末期に向けた方針について説明し、変化に応じてその都度、意向確認や同意書の作成を行っている。週1回、階下の診療所との合同会議も行われており、本人、家族の意向を踏まえ、関係者間での方針の共有に努めている。	
36		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	併設診療所との合同学習会や、ホーム内でも定期的学習、日々対応について、実践できるように心がけています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37	(16)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	併設診療所との合同災害訓練の実施、地域交流施設協働に努めています。	消防署の指導のもと、併設される診療所とともに、夜間想定も含む年2回の避難訓練を実施し、入居者も参加している。また、事業所内の電気系統の点検も定期的に行われている。運営推進会議等を通じて、地域消防団との連携に向けた働きかけが行われており、今後の充実が期待される。	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
38	(17)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人情報、常に、御家族様、本人様に配慮し確認を行い、慎重に取り扱う様にしています。法人内の学習会への参加も行っています。	入居者の意向や生活のペースを把握し、尊重した支援となるよう努めている。入浴時や排泄ケアの際には特に留意し、プライドや羞恥心への配慮に努めながら、さりげない対応を行っている。	
39		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	御理解が得られる様に、繰り返しお伝えし、難聴の方へは、耳元でゆっくりお話をしています。入浴支援、食事メニューの希望等、要望に沿える様相談をしたりしながら、自己決定できるように努めています。		
40		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の生活のスケジュールや活動計画はありますが、心身の状況に合わせ柔軟に対応しています。外出計画等は相談しながら、決定しています。		
41		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	月一回の理美容の利用を本人、御家族と相談しながら行っています。		
42	(18)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事担当者は、利用者様の好み等を把握し、メニュー選択を行っています。食材の準備(玉ねぎの皮剥き、もやしのめ切り等)と一緒にしています。引き膳は職員の見守りでおこなわれています	嗜好が反映された献立を作成し、疾病や機能、栄養バランス等に配慮しながら調理を行っている。職員もともに食卓を囲み、個々のペースにあわせた、ゆっくりとした食事風景があった。毎週、ホームで行われる予防教室では、地域の方々と食事を共にする機会がある。	
43		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ご利用者様の状態に応じ、食事形態を工夫しています(ミキサー食、トロミ付き等)水分は、お茶、牛乳やポカリスエット、野菜ジュース等細めに提供しています。冷蔵庫にはいつでも、飲水出来られる様に準備しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後は、口腔ケアを支援しています。うがい困難な方には、歯ブラシによるブラッシングを行い、義歯の方は、夜間帯、義歯洗浄後、歯肉の安静の為、外しお預かりしています。週1回歯科より口腔ケアに見えています。		
45	(19)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	食事の前後や入浴前、就寝前等、トイレでの排泄に努めています。その方の排泄パターンに合わせてさりげなくお誘いしています。	個別の疾病や機能状況の把握、また、パターンや傾向に応じた声かけや誘導を行い、個別の排泄支援を行っている。排泄の自立の継続も意識しながら、機能保持に向けた体操や訓練を行っている。	
46		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	軽い体操や、コミュニケーションをとりながら、腹部マッサージを行い、スムーズに排泄が出来るように支援しています。		
47	(20)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	一番風呂にこだわる方、ゆっくり一人で入りたい方、おしゃべりしながら、仲良し同士で入りたい方を把握し、入浴を楽しんで入られる様に工夫しています。	特別な予定がある場合を除き、毎日入浴準備を行い、希望や状況に柔軟に対応している。時には温泉にも出掛け、家族風呂を貸し切りながら入浴を楽しむ機会もある。浴室に音楽を流したり、ともに歌ったりと、ゆっくりと入浴の時間を楽しんでいる。	
48		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼食後の休息や夕食後暫くテレビを見て休まれる方等、昔ながらの習慣に配慮しています。就寝時、一人で休むことを不安に思われる方には、暫く添い寝をしたりしながら、安心して休まれるよう支援しています。		
49		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	御利用者の薬と処方説明書は薬ボックスに保管常時確認できるように、業務日誌にも綴じこんでいます。各々の方の飲み方に応じ、支援しています。副作用や新しい処方薬等は特に、職員に説明し、観察に努めています。		
50		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	歌番組や時代劇等、好まれるテレビ番組を録画し見て頂いたりしています。食後のお盆拭きやテーブル拭き、洗濯物たたみを率先してして頂き、各々の方の役割になっています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51	(21)	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>馴染みのお店へ出かけたり、入居者さんの御希望を考慮し、外食、温泉等に出かけています。手作りのお弁当を持参し、近くの公園にお花見に出かけたりしています。</p>	<p>少しずつ重度化する中で、外出の希望も少なくなってきたが、近隣の中友公園への散歩や、週1回の馴染みの店での買い物、外食等に出掛けていることが記録からも確認できる。時には温泉に出向き、家族風呂を貸し切りながら入浴を楽しむ機会もある。</p>	
52		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご家族からの預かり金より、一緒に買い物に出かけたり、お釣り等、小額なお金は、手元に持たれ次回の買い物の楽しみにされています。</p>		
53		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>居室に電話を設置されている方、御要望に応じ御家族に電話をかけられたり、職員に依頼時は支援しています。</p>		
54	(22)	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>各居室やリビングには、湿温度計を設置し、除湿や加湿等細かに対応しています。廊下やホールには、合同で作成した物や昔懐かしい物で、心が和まれる様に配慮しています。</p>	<p>診療所の2階部分を改修されたホーム内は、エレベーター前のホールやリビングスペース、時にはステージにもなる和室スペース等、ゆとりある広さを有している。歴史を重ねた足踏みミシンや鏡台、箆笥等が置かれたり、綿入れが壁に飾られていたり、懐かしい「和」を基調とした空間作りへの工夫や配慮が行われている。</p>	
55		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共有スペースが広く、リビングの一角にソファを置いたり、廊下やホールにはベンチを置いている為一休みされたり、うとうと昼寝されたりされています。</p>		
56	(23)	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みの道具や品物を置かれており、持ち込みは自由に行っています。居室には、御家族との写真を置いたりする事で、居心地良く過ごしやすいように努めています。</p>	<p>床面には、個々人の暮らし方や状況に応じて畳が敷かれ、家具の配置や段差の解消等に工夫や配慮が行われている。個人電話が設置されたり、大好きな演歌歌手のポスターが貼られていたり、個性性と生活感のあるプライバシー空間となっている。</p>	
57		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>廊下やホールを安全に、散歩されたり、過ごせる様に、危険が無いように環境整備に努めています。</p>		